



学校だより
第4号

もえぎのや
萌木舎

大津市立志賀小学校
児童数 722人
令和5年 6月23日

学校教育目標 『未来を切り開く、心身共に健全で、人間性豊かな子どもを育てる』
三つの校訓 心をこめてあいさつします 額に汗して黙ってそじをします 目と心と耳で聴きます

志賀小学校校歌

一、春はみどりの麦畑
海までつづく麦畑
ぴーちく ひばりの声がする
かすむお空のはてもなく
心あそべというように

二、昔の人の舟とめた
唐崎ちかいみずうみを
ぽーとならして舟がいく
きらきら光るさざ波が
水にあそべというように

三、青いお空に白雲が
ぽっかりうかんで志賀ののは
黄金の波が光ってる
みんなも勉強しつかりと
できているかというように

四、鳥がないて宇佐山の
しもおく冬はきびしいが
湖のむこうに日をあびて
やさしい姿の三上山
よいこになれというように

1975年(昭和50年)まで、歌われていた志賀小学校の校歌です。歌詞を見ると、当時の志賀小学校近辺の風景が手に取るように分かります。1975年6月23日(創立記念日)に、創立100周年記念式典が挙行されましたが、その際に、新校歌(くまなく晴れた志賀の朝……現在の校歌)が制定されました。



1964年の正門



1964年の修学旅行



1979年の運動会

志賀小学校の歴史を見ると、明治8年に「花園学校」として創立されたのが始まりです。その後、明治14年6月23日に「滋賀郡第22小学校区花園学校」となり、この日が開校記念日(創立記念日)となっています。明治28年5月に、校舎が新築され、現在地に移転されました。1955年(昭和30年)に、創立80周年記念式典、1975年(昭和50年)に、100周年と歴史を刻んでいます。この頃の児童数は、1200人以上だったようです。そして、今日6月23日で学校創立148年、2年後の2025年には、ちょうど150周年となります。

上の写真は、卒業アルバムから引用しています。1964年の修学旅行の写真を見ると、男子が学生服を着用していることが分かります。行き先は、伊勢、記念写真は定番の夫婦岩前です。そして、1979年の運動会の写真ですが、熱のこもった応援合戦の様子が伝わります。

1967年の卒業アルバムより

- ・最初の給食の時、6年生が配ってくれたミルクの味、飲んだ時いやな味がして飲めなかった。5年生の時ガラスを割った瞬間、もうガラスを割るまいと思った。
- ・夏休みに、山中分校の林間学校に行って、お墓で、きもだめしをした。とてもこわかった。さとう湯を飲んだりたまごどんぶりをたべたりしたことが、たいへん楽しかった。
- ・ぼくの悪い点は、しんぼうがないことだ。悪い点を少しでも直して、よい中学生になりたいものだ。